

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel:(072)222-0131 番(代表)

ガバナー(第2640地区) : 福井 隆一郎

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/fukui/>

E-mail : fukui2016@wind.ocn.ne.jp

会長: 中田 学 幹事: 笹山悦夫 広報委員長: 坂田兼則 編集者: 嶽盛和三

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2016年11月4日(金)第1729回

卓話「ロータリー財団フォーラム」

卓話者 山中 喜八郎 委員長

今週の歌「君が代」「奉仕の理想」

「バースデーソング」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(11月度)

田口 隆会員(12日) 木畑明子様(16日)

○結婚記念祝い(11月度)

宇瀬治夫会員(3日) 米澤邦明会員(4日)

山ノ内修一会員(16日) 中田 学会員(18日)

塩見 守会員(18日) 奥野圭作会員(19日)

三上尚嘉会員(23日)

次週の例会

2016年11月13日(日)第1730回

例会変更 及び

「第6回子ども囲碁フェスタ・堺」

前回の例会

2016年10月28日(金)第1728回

卓話 「五代友厚と堺」

卓話者 堺市建築都市局交通政策課内

「未来へつなごう!堺チン電の会」

井溪 明様

紹介者 堀畑 好秀 会員

今週の歌「R-O-T-A-R-Y」「旅愁」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(10月度)

堀畑好秀会員(第36回)

國井 豊会員(第30回)

木畑 清会員(第5回)

<10月13日(木)の出席報告>

会員数 31名

出席会員 24名

欠席会員 7名

ゲスト 1名

ビジター 0名

9月23日(金)の出席率 93.75%



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-17年度 国際ロータリーのテーマ

「人類に奉仕するロータリー」

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム(米国・チャタヌーガRC)

卓話の時間

「五代友厚と堺」

堺市交通政策課 井溪 明 様



五代友厚は、大阪市ではかねてより近代大阪の産業を振興した人物、商工会議所初代会頭としてそれなりに知られていた人物であります。また昨年の朝ドラでも大同生命創業者広岡浅子ゆかりの人物として大きく取り上げられ、改めてクローズアップされました。一方、彼の大阪での業績は堺に始まることはほとんど知られていません。今回は、五代と堺とのかかわりの一端を知っていただくことにあります。五代と堺を繋ぐ接点は大きく4点ほどあります。

①堺事件

慶応4(1868)2月15日 堺事件突発、(フランス軍艦デュプレックス号乗組員20余人旧港内へ小舟を乗りつけ堺付近測量のため、一隻は新湊に回航、他の一隻は旭館前の岸に横着け上陸、善法寺・龍神堂付近を徘徊)。土佐藩士、フランス兵11名殺傷となります。五代友厚、外国事務総督東久世通禧と共に来堺し、死体捜索をはじめ処理にあたりました。

その後、2月23日 土佐藩士11名、妙国寺にて切腹、遺骸は北側の宝珠院に埋葬されました(墓碑は土佐藩主山内豊範建立)。ちなみにフランス兵は神戸市旧居留地外人墓地に葬られました。五代友厚は日本側(外国事務局)の伊達宗城名代の判事として肥後・安芸両藩重役、土佐藩家老らと立ち合いを行いました。

②戎島の薩摩藩紡績所

明治3(1870)4月 薩摩(鹿児島)藩堺紡績所が開業。イギリスのヒギンズ商会製のミューール紡績機2000錠が鹿児島より運び込まれます(動力は蒸気機関)。薩摩藩はヨーロッパ留学でこの方面の知識を持つ五代友厚に堺紡績掛を命じます。この紡績所の業績は、また新しい機械式の技術に馴染まない国内情勢により振るわず廃藩置県を機に明治5年5月に大蔵省勸農寮に買収されます。その後紡績所は紆余曲折を経て、昭和8(1933)10月 岸和田紡績会社の堺工場閉鎖で終焉を迎えます。しかし紡績所自体は、後に大日本紡績所と改称され、現在のユニチカに繋がることとなります。

③堺商工会議所の開設

明治11(1878)8月27日 大阪にて、商工会議所が設立され、初代会頭に五代友厚(42歳)が就任します。翌年9月13日 五代友厚の指導助言のもと、堺で柳原吉兵衛・大塚三郎兵衛・藤本荘太郎らにより「堺商業集会所(今日の堺商工会議所)」が榎屋町東23番地に創設されます。

④阪堺鉄道(後の南海電鉄)の敷設

明治15(1882)5月 阪堺鉄道会社(後の南海電鉄)、大阪:藤田伝三郎・平瀬亀之助・松本重太郎等5人、堺:鳥井駒吉・宅徳平等12人及び東京2人の計17人で発起されます。藤田・駒井・松本ら5名が会社創立委員となるとともに、五代友厚もその有力な提唱者でした。

明治18(1885)9月25日 五代友厚、東京築地の別邸にて死去、享年50歳。壮大な葬列のもと阿倍野墓地に葬られます。

同年12月27日 民間鉄道として初めて、阪堺鉄道(現南海線)の難波一大和川間が開通します。その後明治21(1888)5月15日 阪堺鉄道、大和川-堺吾妻橋間が開通し堺

停留場（後の堺駅）開業し、南海本線の礎が築かれます。

五代の業績は大阪市を中心に語られることがほとんどですが、先の朝ドラまではあまり注目されることなく推移しました。そのことに早くから警鐘を鳴らし五代を評価したのは大阪の作家織田作之助でした。彼は大阪繊維新聞や大阪工業新聞（現在の産経新聞）などの記者をする傍ら、小説家としても代表作「夫婦善哉」をはじめ主たる作品を堺市北野田に住み書き綴りました。五代についても単行本として出版した「大阪の指導者」をはじめ折に触れて何度も筆にしています。その先見性には改めて非凡なものを感じます。

それはともかく、五代友厚が堺の近代化に寄与貢献したことは否めません。改めてその業績が評価されるべきではないかと思えます。

会長の時間

会長 中田 学



昔、綾之町に住んでいた長兵衛という人が、かみそりをつくって大阪城内で売っていました。

それがいつしか秀吉にわかり、「そんなによく切れるかみそりをつくるのであったら、たばこ包丁をつくらせてはどうか。」ということになったそうです。

たばこは天文12年（1543年）に、はじめてヨーロッパから入ってきました。

このたばこの葉をきざむ包丁を「たばこ包丁」といいます長兵衛のつくった包丁がよく切れたので、長兵衛は秀吉にかわいがられ、奥さんの尾方の名をとって「尾方包丁」といったそうです。

また梅枝七郎右衛門という人が、刀づくりをやめて、たばこ包丁をつくるようになり、子供の作左衛門が京都へ売りに行ったところ、この包丁が砂岩を割った事から「石割包丁」と呼ばれるようになり、その後は「石割」という名を包丁に刻むようにしたそうです。

この二つが堺で包丁をつくるようになった起りだといわれています。

ところが二代目の作左衛門の頃から、この包丁を盛んに売りはじめたので、大坂やそのほかの所で、にせ物がつくられるようになりました。

そのうえ堺でもこの包丁をつくる人が増えてきました。そこで組合をつくり、幕府から「堺極」という印をつけて売り出すようなことがあると、堺包丁の信用が落ちるので、組合からそんな人々を罰するようにと、町奉行に願い出ていました。

宝暦8年（1758年）に堺町奉行であった池田筑後守正倫は、堺でつくられたたばこ包丁を全部買い上げて、これを幕府の力で全国へ売りさばくことにしました。

高い値段で売ったので、たくさんお金が幕府に入りました。

こうなると、個人で包丁を売ることができなくなりましたが、これが堺包丁、堺刃物の名を全国に広めることになりました。

昔から堺で包丁をつくる人は、北旅籠町、桜之町、綾之町、錦之町、柳之町、九間町、神明町の辺りに住んでいました。だから今でも包丁などの刃物をつくる店や、卸売りをし

ている店はこの辺りに集まっています。

明治になってからは、たばこの作り方も変わりましたので、たばこ包丁の鍛冶屋さんも料理包丁をつくるようになり今では、海外へも堺刃物の名で売り出されています。

委員会報告

社会奉仕委員会

「10月度ダメ・ゼツタイ募金」報告

社会奉仕委員長 藤永 誉



今月は池永会員がベトナムコーヒーをご用意して下さいました。

募金額は17,240円でした。池永会員ありがとうございました。皆様のご協力に感謝いたします。

広報委員会

「ロータリーの友10月号のご紹介」

広報委員 山ノ内修一



ロータリーの友10月号を紹介させていただきます。

まず、左開きから。

1. 3ページ RI会長のメッセージ「最後の戦い」

ロータリーとポリオの係わり、ポリオの現状、またポリオ撲滅に向けての取組みが書かれています。

2. 8ページ～13ページ 写真で振り返る「日本のオリンピックとロータリー」

ロータリーと日本でのオリンピックとの係わりが紹介されています。東京オリンピックのとき、私は中学3年生でした。マラソンのアベベが裸足で走って優勝したのが印象に残っています。

東京オリンピック（1964年）、

札幌オリンピック（1972年）

長野オリンピック（1998年）

3. 14ページ～16ページ

ポリオ撲滅ゾーンコーディネーターの坂本俊雄氏（東京八王子南RC）が、パキスタンでのポリオとの闘いについて書かれています。

政治事情や経済情勢を背景にその苦闘ぶりがうかがえます。

続いて右開き。

1. 4ページ～8ページ

NPO法人ロシナンテス理事長 川原尚行「自分に誇りを持って相手を理解する」

医師としてスーダンでの巡回医療や、衛生状態改善のための井戸掘りに取り組んでおられます。世の中、こんな人もいるのだ！と感動させられます。ぜひ、読んでいただきたい記事です。

2. 19ページ友愛の広場の中で「ロータリーらしさとは」と題された丸亀RC横田氏の文章があります。最近「子どもらしい子ども」がいなくなった。「子どもらしさ」があるのなら「ロータリーらしさ」もあるはず。「ロータリーらしさ」とは何か・・・。

考えさせられる一文です。

SA A 報告

中田 学会員 徳田会員お帰りなさい。元気になられましたね。又ゴルフに行きましょう。

堀畑好秀会員 「五代友厚と堺」と題して井溪明様に卓話を頂きます。御清聴下さい。

那須宗弘会員 井溪さん、ようこそ本日のお話し楽しみにしています。

山ノ内修一会員 徳田さん、お帰りなさい。お元気になられて良かったです。

城岡陽志会員 徳田さん、お帰りなさい。来週同じふるりのノーベル賞の中村博士と東京で四人で食事会をします。知性と教養のある会話をしてきます。

徳田 稔会員 やっと出席できる様になりました。長い間休みました。

嶽盛和三会員 井溪様卓話楽しみに致しております。徳田さんお元気のご様子嬉しく思います。

奥野圭作会員 井溪さん、今日はよろしく願い申し上げます。

合計 31,000円

幹事報告

(1) 配布物 週報・卓話原稿

4クラブ合同記念週報・ロータリーの友10月号

(2) 幹事報告

・大阪府の薬物乱用防止啓発活動において、我がクラブの寄付活動が大きく貢献したことにより、今回新たに”大麻”の乱用防止に重点を置いた啓発物品（キズ絆創膏）を「寄贈：堺北ロータリークラブ」の名称入りで追加されることになりました。会員皆様の日頃のご協力への感謝とともにご報告いたします。

例会風景

創立以来、皆出席の堀畑会員。
おめでとうございます！



